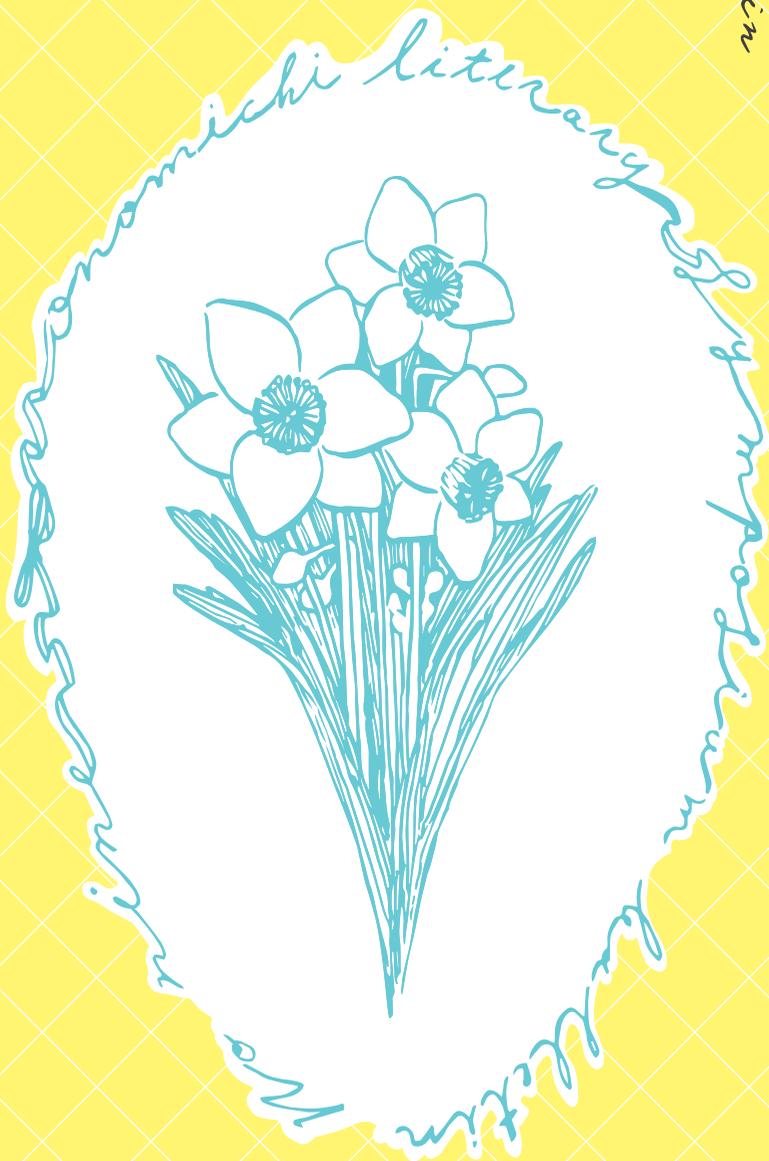


Onomichi Literary Symposium
尾道文学談話会会報



第九号

目次

永井荷風『断腸亭日乗』管見

—昭和二十年夏、岡山の八十日—(中)

寺杣 雅人

1

人に問いかける表現

—『放浪記』から—

藤本真理子

15

続『百人一首図絵』を読む

尼崎こころ

財津 奈々

藤川 功和

25

白樺の木の下で

石岡 孝善

内海 昌子

亀田 芳子

北浦 一馬

白井 孝治

古澤 和子

山本 朝子

53

平成三十年度尾道文学談話会テーマ一覧

61

『尾道文学談話会会報』目次一覧 創刊号〜第8号

62

森敦の「月山」を読む

刈山 和俊 柴 市郎 (1)

アダム・スミス『修辞学・文学講義』を読む

林 直樹 (15)

平成三十年度

日本文学科フィールドワーク報告書

原 卓史 小畑 拓也 塚本 真紀 (35)

本誌『尾道文学談話会会報』掲載論文等は、広島県大学共同リポジトリ(略称EARP)によってインターネットでもご覧いただけます。(http://harp.lib.hiroshima-u.ac.jp/)

編集後記

『尾道文学談話会会報』第九号をお届けします。

今号には、藤本真理子准教授、藤川功和教授、フィードワーク担当教員、そのほかに寺柚雅人名誉教授、経済情報学部 林直樹准教授、刈山和俊名誉教授・柴市郎教授による六編を収めております。

参加者による「白樺の木の下で」には、石岡孝善氏、内海昌子氏、亀田芳子氏、北浦一馬氏、白井孝治氏、古澤和子氏、山本朝子氏のご寄稿を掲載させていただきました。地域の方々との交流に支えられて継続する談話会ならではの成果といえましょう。

今年度は、七月の西日本豪雨災害により本学も学内外に多大なご心配をおかけしました。さまざまにご支援とご協力に改めて感謝し、被害に遭われた方々には心よりお見舞いを申し上げます。

談話会は昨年度から会場を商店街の本学サテライトスタジオに変更し、新しくご参加くださる方々も増えております。毎月第一月曜日に開催としておりますが、会場と講師の都合で余儀なく変更が生じる場合もあるため、お手数ですが事前に本学・地域総合センター（Ⅷ、〇八四八〜二二〜八三二一）へご確認願います。

日本文学科は引き続き地域貢献を含め、ささやかな研

究成果、専門性の社会還元に結びつくような機会を大切にしながら、一層皆様と楽しい時を共有できればと思っております。どうぞ今後ともよろしくご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

（塚本 真紀 藤井 佐美）

尾道文学談話会会報 第九号

二〇一九年二月四日 印刷

二〇一九年二月四日 発行

発行者 尾道市立大学芸術文化学部日本文学科

印刷所 三原プリント株式会社

三原市和田一丁目五一三

電話（〇八四八）六四一―六四三

発行所 尾道市立大学芸術文化学部日本文学科

尾道市久山田町一六〇〇―二

電話（〇八四八）二二―八三二一

表紙デザイン

尾道市立大学美術研究科美術専攻

野見 采香（のみ あやか）



Onomichi
literary symposium
bulletin